

令和6年4月定例教育委員会会議録

- 1 期 日 令和6年4月25日（木）
- 2 場 所 江北町公民館2階 講座室
- 3 参集者 吉田教育長、浪瀬委員、田中委員、溝口委員、重松委員、本村こども教育課長兼学校づくり推進室長、坂元国スポ推進室長、西村幼児教育センター所長、西村国スポ推進室長代理、峯こども教育課長代理兼給食センター所長兼こどもセンター所長、小宮主任指導主事、野田学校教育係長、米田国スポ推進係長、稲富総務企画係長兼学校づくり推進係長
- 4 町民憲章の唱和 出席者全員により町民憲章の唱和を行う。
- 5 本日の会議成立の確認 5名出席（全員出席）
- 6 議案審査
議案第2号 令和6年度教育施策実施計画について
- 7 教育長の報告他
報告第1号 令和6年度 第1回教育長会について
- 8 その他
 - ・ 国外交流事業 エボニーの学校訪問について
 - ・ 5月行事予定
- 9 会議の経過
 - (1) 開会 午後2時
 - (2) 前回会議録の承認
3月定例委員会及び4月1日臨時委員会について、吉田教育長は、会議に諮り、委員会は承認した。
 - (3) 議案審査

【議案第2号】
令和6年度教育施策実施計画について
このことについて、稲富総務企画係長は令和6年度教育施策実施計画の資料に基づき説明し、委員会は協議の結果、議案のとおり承認した。

(4) 教育長の報告他

【報告第1号】

令和6年度第1回教育長会について

吉田教育長は、「第1回教育長会について」の資料に基づき説明を行った。

○吉田教育長

これまで教育委員会では『施設一体型の義務教育学校、中学校の敷地内、令和10年4月の開校を目指す』の3本の柱で提起してきたが、町長は、この3本を一旦白紙にして進めたいとの考えを持っている。例えば小学校中学校が既存校舎のまま、施設分離型の義務教育学校化の形が取れないのか、既存施設の上でも4-3-2等の学年の区切りは作れないのか等の意見があった。

○田中委員

義務教育学校にしていくことも白紙なのか。義務教育学校化する意味は何なのか。

○吉田教育長

義務教育学校化はマニフェストにも掲げられている。

○坂元国スポ推進室長

既存の小中学校と義務教育学校の違いは、教育委員会でカリキュラムの編成ができるとか、4-3-2の区切りを変更できるところ。通常は文科省からの許可や特例校指定が必要。

○溝口委員

本末転倒のように感じる。施設の老朽化はそのまま、一町一校ずつの状況で、なんのために義務教育学校化するのかと思う。子どもたちは混乱するし、先生達は多忙化するのが目に見えていて意味がない。

○重松委員

あり方検討会の最初の時に、別々に新しく出来て今まで通りじゃいけないのかと質問したと思う。仮設校舎を建てないように施設一体型にする。補助を受けるための義務教育学校化等の背景があって、施設一体型の義務教育学校化になった。これまでの検討会の意向を町に粘り強く伝えてほしい。そもそもなんのために義務教育学校にするかの議論に戻ってしまう。根底が変わるのであれば、義務教育学校の話は無かった事にするしかないのではないか。

○坂元国スポ推進室長

あり方検討会の時は、前提に小学校の老朽化があって、本来は教育的には小中学校別が良いのかもしれないけれど、費用を満たしつつ教育環境改善のためには、施設一体型の義務教育学校化にする結論に至ったと思います。教育委員会としては、町が教育課題の解決につい

て進めてほしいという意見も理解するが、施設老朽化についても対策をさせてほしいと伝えていくしかない。

○浪瀬委員

財源的に小中学校一辺に立て直すことが難しいということが頭があって、施設一体型の義務教育学校であれば町も財政的に対応でき、施設の老朽化対策ができるという事で、話を進めてきた認識であった。

○重松委員

教育支援センターの協議でも、町がお金がないから創れないとの結果だった。教育内容の充実は大切だが、施設の充実についても町に支援をしてもらいたい。

○稲富総務企画係長

義務教育学校化の検討が進まない事を理由に、既存施設の改修や修繕が手つかずにならないように、町と協議していきたい。

○本村こども教育課長兼学校づくり推進室長

義務教育学校の仕組みだけを取り入れて、既存施設の老朽化対策は全くしないということにはならない。

○田中委員

トイレの臭い問題もまだ解決していない。時期によっては強く臭うので、引き続き対策してほしい。

○浪瀬委員

長寿命化でするのか、改築でするのか、老朽化での事故が起こる前に、はっきり結論を出す時期にあるのではないか。

○坂元国スポ推進室長

町のソフト事業を優先させる意図は理解しているが、特別支援教室など、ハード面で足りない箇所は既にあるので、既存施設の足りてない箇所に対する話も同時進行で進めていかなければならないと考えている。

○溝口委員

周りの方からよく聞かれるが、保護者や町民の何割かは、おそらく学校が新しく建つものと思っていると思う。実際長寿命化に決定するのであれば、町民への説明をお願いしたい。

(5) その他

- ① 国外交流事業 エボニーの学校訪問について
- ② 5月行事予定

(6) 閉会 午後 3時38分